

(案)

令和2年3月26日

美里町長 原田信次 様

美里町農業振興審議会  
会長 橋場倅男

地域活性化に向けた取組について (答申)

令和元年5月29日付けで当審議会に諮問のあった「地域活性化に向けた取組について」は、美里町農業振興審議会設置条例第2条の規定に基づき、慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

## 美里町農業振興審議会の答申書

美里町では、第5次美里町総合振興計画において、役場、松久駅及び寄居スマートICのエリアを「まちづくり拠点地区」として、町の基幹産業である農業を軸に、活力あるまちづくりを推進するため地域活性化施設の必要性を掲げている。これを受け、当審議会においても度重なる会議と先進地の視察を行い、町内外からの利用者や地域住民が集まる地域活性化施設の必要性が確認できた。

しかし、施設の建設にあたっては、さまざまな課題を解決する必要がある、中でも、整備にあたっては、国の補助金等の活用が見込まれること、運営面では、民間ノウハウを生かした経営により町の負担を抑制するなど、財政面の見通しを立てることが不可欠である。

また、町の資源を最大限活用し、地域住民に愛される町の交流拠点として多面的機能を持たせた魅力ある施設になるよう十分に配慮し、実現に向け推進していただきたい。

なお、提起された意見は次のとおりである。

令和2年3月26日

美里町農業振興審議会  
会長 橋場 倅 男  
副会長 小泉 雄 一  
委員 櫻 沢 保  
大島 輝 雄  
飯 島 一  
上 田 勝 美  
渋 井 清  
田 沼 晃  
齋 藤 讓 一  
根 岸 利 成  
関 根 尚 子  
徳 世 保 孝  
野 沢 進  
茂 木 清 一  
長谷川 隆史

### 【美里町の現状について】

美里町には、中心となる商店街や市街地がなく、町の中心部に農地が広がるため、核となる拠点が無いのが現状である。この現状を踏まえ、第4次美里町総合振興計画の時から、土地利用方針の中で、寄居スマートICやアクセス道路の整備とともに町の核となる拠点施設の検討を進めてきた。

第5次美里町総合振興計画においては、役場、松久駅及び寄居スマートIC周辺を「まちづくり拠点地区」として、寄居スマートICへの接続道路周辺を町の玄関口に位置付けている。また、産業団地の整備により、当該地区の発展が見込まれる中、この機会を逃すことなくチャンスに変えることが望まれている。

### 【美里町の課題について】

町の基幹産業である農業は、専業農家の大規模化が進む一方、小規模な兼業農家が多く占めているが、年々、農業就業者の高齢化や担い手不足により耕作放棄地の増加などの問題を抱えている。このような中において、小規模な農家も安定して農畜産物を供給できる生活に密着した「場づくり」や「仕組みづくり」が必要であり、地域活性化施設を拠点として、町の農業振興を推進する必要がある。

### 【農業振興審議会の審議について】

過去に実施した農業振興審議会及び総合振興計画策定委員会等における審議や町内外の若者を参集したワークショップの意見では、地域活性化施設の必要性が望まれており、今回の審議会においても必要性について確認することができた。

整備箇所については、役場、松久駅及び寄居スマートICを結ぶ当該地区は、農地転用の可能性が見込まれる地区であり、今後の発展性が望める地区として最適な場所であることが解った。

### 【建設費や運営費について】

施設に係る建設費用については、町の財政状況を勘案する中で国の補助金等を最大限活用すること。また、運営については、民間のノウハウを生かし、町の支出を極力伴わない経営を目指すこととし、整備の推進に対し町民に理解が得られるよう十分な説明を行うことが必要である。

## 【まとめ】

現代社会において、人々の価値観や暮らし方は多種多様であり、物質的・金銭的な豊かさだけでなく、人と人とのつながりや社会貢献、生きがいなどの心の豊かさが重視される時代となっている。少子高齢化が進み、超少子高齢社会に突入している状況において、心の豊かさにつながるライフスタイルが求められている。

また、高齢者をはじめとした町民がいかに主体的に活動し、楽しみや生きがいを持って暮らすことができるかが重要な要素である。

町は、第5次美里町総合振興計画において「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、町民一人ひとりが美里町での暮らしに誇りを持ち、この町に住みたいと思える幸福な暮らしのあるまちを目指している。

さらに町は、広大な農地を有し、農業振興を軸にまちづくりを進めてきたが、近年のグローバル化の中、農地や農村の存続のため、新たな視点で持続可能なまちづくりの工夫が課題となっている。

以上のことから、町の核となる地域活性化施設は、美里町の資源を活用して、町の魅力を発信し、町民はもとより町内外の利用者が集う、にぎわいのある施設として整備することを目指していただきたい。

## 【添付資料】

別紙1…施設整備検討の背景

別紙2…地域活性化施設基本構想（案）

参 考…審議の経過

# 別紙1 施設整備検討の背景

## 美里町の機会・特性・課題

### 美里町の機会

- ・ 寄居スマートICの整備による広域利便性の向上
- ・ 新たな産業団地の形成による雇用の創出



### 美里町の特性・課題

- ・ 「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」に向けた楽しみ、生きがいづくりの必要性
- ・ 基幹産業である農業の活性化に向けた取組の必要性
- ・ 自然資源・歴史資源の連携強化
- ・ 地域資源を活用した交流人口の増加に向けた取組の必要性



## 道の駅の概要

道の駅は、単なる通過する道路利用者のサービス提供の場から『地方創生・観光を加速する拠点へ進化している。

第3ステージ（2020～2025年）

『地方創生・観光を加速する拠点』へ  
+  
ネットワーク化で活かせる地域デザインにも貢献

出典：新「道の駅」のありかた検討委員会より  
(国交省)

## 町内における意見

### 住民ニーズ

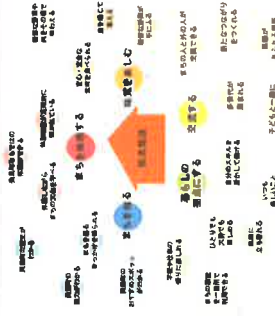
「まちを体感する」場

「味覚を楽しむ」場

「交流する」場

「暮らしの拠点にする」場

「まちを知る」場



### これまでの審議会で出された意見

項目	内容
施設イメージ テーマに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人を集めるには<b>食</b>が大事</li> <li>・ 美里町の<b>自然</b>や<b>里山</b>を活かすと良い</li> <li>・ <b>カントリーライフ</b>を体験できる場所</li> <li>・ <b>健康</b>というフレーズが良い</li> </ul>
導入機能 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食・伝統食レストラン</li> <li>・ <b>加工体験室</b>・加工所</li> <li>・ 家族で楽しめるバーベキュー、釣り堀</li> <li>・ 学習の場</li> <li>・ 農地付きの宿泊</li> <li>・ 特産品を使用した菓子などの加工品販売、工芸品の販売</li> <li>・ 里山再生、竹林の活用、史跡巡り</li> <li>・ 災害時の<b>防災機能</b>（お米バンク等）</li> <li>・ 大きな駐車場と綺麗なトイレ</li> <li>・ 田、畑、山を活用した様々な商品販売</li> </ul>

### 職員ワーキングにおける意見

テーマ	テーマに基づく取組(機能)	ターゲット
<b>美と健康</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康食、野菜レストラン</li> <li>・ 健康体操、ウォーキング</li> <li>・ 公園</li> <li>・ 温泉、足湯</li> <li>・ 美に特化したお土産コーナー</li> <li>・ 美容コーナー</li> <li>・ ゴルフレッスン</li> <li>・ サイクリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の高齢者</li> <li>・ 町内の主婦</li> <li>・ 広域からの観光客</li> <li>・ 女性</li> </ul>
<b>食</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農家との<b>交流</b>の場</li> <li>・ 料理教室</li> <li>・ 食堂、弁当</li> <li>・ 畑で収穫し、自分で持ち寄って食べられるレストラン</li> <li>・ 町オリジナルアイスクリーム、ジェラート、カフェ、スイーツ</li> <li>・ <b>インスタ映え</b>するカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立ち寄り客</li> <li>・ 産業界地従業者</li> <li>・ 健康志向のある町民</li> <li>・ 女性</li> </ul>
<b>遊</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>滞在</b>できる、昼寝、休憩所</li> <li>・ 靴を脱いで<b>ゆっくり</b>過ごせるカフェ</li> <li>・ 子どもが<b>遊べる遊具</b></li> <li>・ 町ならではの<b>伝統・文化</b>体験</li> <li>・ 釣り、昆虫採集、バーベキュー等の<b>自然</b>体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣の親子</li> <li>・ 町外の若者</li> <li>・ 大学生</li> <li>・ 外国人</li> </ul>

## 事業者の意見

### 施設の運営可能性のある事業者へのヒアリング

項目	内容
施設イメージ テーマに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「町民のための施設」を主眼に考えるべき。地元客を呼び寄せるもの+目玉となるコンテンツが必要</li> <li>・ ゴルフ場の近くという立地はプラス要因</li> <li>・ インターの近くという立地の観点から<b>滞在施設</b>として人が集まるポテンシャルはある</li> <li>・ <b>健康</b>というテーマでの施設整備は考えられる</li> <li>・ 仮設キャンプ等、<b>滞在型</b>コンテンツはどうか</li> <li>・ 地元のものを使ったメニュー開発は可能</li> <li>・ ブルーベリーや古代豚など、<b>美里町のブランド</b>を作るための施設とするべき</li> </ul>
導入機能 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>農業</b>を押し付けていくべき</li> <li>・ 「農業×○○」など、組み合わせが必要</li> <li>・ 週末農業など、<b>短期滞在</b>の施設があっても良い</li> <li>・ テーマは<b>食</b>にするべき</li> <li>・ 美里といえればブルーベリーとエゴマ。うまく活用してほしい。加工による差別化</li> <li>・ 周辺施設とのタイアップが必須</li> <li>・ 市民農園、滞在型市民農園</li> <li>・ <b>健康</b>に関するセミナーやイベントの開催、健康シスターム（料理メニュー等）の提供</li> <li>・ 営業指導</li> <li>・ 工場見学との連携による集客</li> </ul>

### 連携可能性のある事業者へのヒアリング

項目	内容
施設イメージ テーマに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>農業</b>を押し付けていくべき</li> <li>・ 「農業×○○」など、組み合わせが必要</li> <li>・ 週末農業など、<b>短期滞在</b>の施設があっても良い</li> <li>・ テーマは<b>食</b>にするべき</li> <li>・ 美里といえればブルーベリーとエゴマ。うまく活用してほしい。加工による差別化</li> <li>・ 周辺施設とのタイアップが必須</li> <li>・ 市民農園、滞在型市民農園</li> <li>・ <b>健康</b>に関するセミナーやイベントの開催、健康シスターム（料理メニュー等）の提供</li> <li>・ 営業指導</li> <li>・ 工場見学との連携による集客</li> </ul>
導入機能 取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>農業</b>を押し付けていくべき</li> <li>・ 「農業×○○」など、組み合わせが必要</li> <li>・ 週末農業など、<b>短期滞在</b>の施設があっても良い</li> <li>・ テーマは<b>食</b>にするべき</li> <li>・ 美里といえればブルーベリーとエゴマ。うまく活用してほしい。加工による差別化</li> <li>・ 周辺施設とのタイアップが必須</li> <li>・ 市民農園、滞在型市民農園</li> <li>・ <b>健康</b>に関するセミナーやイベントの開催、健康シスターム（料理メニュー等）の提供</li> <li>・ 営業指導</li> <li>・ 工場見学との連携による集客</li> </ul>
連携可能性 のある取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>健康</b>に関するセミナーやイベントの開催、健康シスターム（料理メニュー等）の提供</li> <li>・ 営業指導</li> <li>・ 工場見学との連携による集客</li> </ul>

地域活性化施設の整備目的

町民や来訪者の拠り所として整備

地域住民が施設に関連する取組への関与を促進し、この取組を通じて生きがいを感じることができる"生きがいづくりの拠り所"、更には生きがいづくりを通じた"健康づくりの拠り所"となることを目指します。

■拠り所のイメージ

- ・安全・安心な農畜産物の供給
- ・農産物の加工・健康食の提供
- ・営業指導 等



地域活性化施設



- ・地元の手作り手の顔が見える安全、安心な農産物の購入
- ・農業体験を通じた交流
- ・収穫した農産物の加工体験 等

町民  
利用者

“里”の資源を活用し “美力”を育む

基本方針1 美力を育む拠点

美里町はその名の通り、美しい田園風景の残るまちであり、またその肥沃な大地で育まれる農畜産物は住民の心身の健康をつくる大事な要素となっています。このような町が有する「里」が育まれることにより、訪れた人が心身ともに美しさを体験する場を目指します。

【拠点の役割】

- ・新鮮な里の農畜産物を活かした身体美(健康)を体験する場
- ・田園風景と調和し、心身ともにリラックスできる、空間、時間の“美”を体験する場 等

基本方針2 美力を発信する拠点

育む“美力”や様々な情報が集まる拠点として、周辺の観光情報やイベントの開催情報なども含めた、多様な情報提供ができる場を目指します。

【拠点の役割】

- ・町の観光案内や各種情報が集まるワンストップ窓口

基本方針3 交流の拠点

町の中心であり、ICに近接する町のゲートウェイとして、ここを訪れる人が単なる立ち寄りだけでなく、滞留し、交流できる場を目指します。また、町民にとっても、この施設が日々の暮らしの中で利用でき、日常生活の核となるような場を目指します。

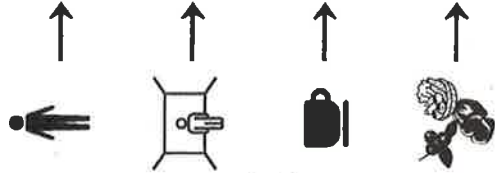
【拠点の役割】

- ・親子連れや高齢者など、日常的に町民が集い、交流する場であるとともに、災害発生時には防災拠点にもなる場
- ・ICに近接するゲートウェイとして、里の資源を介して町外からの来訪者や町民、農業者が交流できる場

整備コンセプト

“美”の資源を育み 発信する 美里の交流拠点

里の資源



美

健康 美里

田園風景と調和した建物

写真: 道の駅ましろ

美里の味覚を体験できる健康食  
健康食レストラン、  
ゆっくり滞在できるカフェ

出典: 道の駅木更津

オリジナル商品開発

出典: 飯沼プリン師

美力アツプ

機能イメージ

美里町目玉コンテンツの開発

- ・地域活性化施設により広範囲から集客を図るために、美里町ならではの、ここでしか体験できないコンテンツの開発を目指します。



情報発信

- ・町のワンストップ窓口として、周辺の観光情報や日々の暮らしの情報を一元化

レストラン

- ・美里町の農畜産物を使ったメニュー展開(野菜レストラン、健康食レストラン、美に特化したメニューの展開等)
- ・産業回地従業員のための弁当販売等

カフェ

- ・美里町の農畜産物を使ったメニュー展開
- ・テイクアウト可
- ・ゆったりとくつろげる空間形成

駐車場・WC・ベビーコーナー

- ・広さにゆとりをもちった駐車場整備
- ・妊婦向け屋根付き優先駐車スペースの確保
- ・24H 利用可能な清潔なトイレ、ベビーコーナー

広場・市民農園

- ・散歩道、自然観察等、田園風景と調和したゆとりある広場
- ・地域の子どもたちのための遊具
- ・町内事業者連携によるイベント開催
- ・事業者と連携した市民農園(週末農業、営業指導等)

物産施設

- ・美里町の農畜産物を使ったオリジナルの商品展開
- ・チャレンジショップでは不定期に町内事業者も出店

農産物直売所

- ・機能性野菜など、町の取組と連携
- ・新鮮な農産物販売

地域コミュニケーション施設

- ・事業者と連携した健康増進システム(健康ポイント、商品交換等)やイベント
- ・学習スペース、ブレイクルーム
- ・子育て支援機能等

〈参 考〉【審議の経過】

開 催 日	内 容
第1回審議会 平成31年1月30日(水)	(1) 地域活性化施設について ・平成24年度の農業振興審議会における答申をはじめ、美里町第5次総合振興計画の位置付けや住民ニーズ等の確認、農地区分をふまえた候補地の協議
第2回審議会 平成31年3月22日(金)	(1) 地域活性化施設整備について ・地域活性化施設の必要性や候補地を協議(各団体からの意見集約の発表)
第3回審議会 令和元年5月29日(水)	◎地域活性化に向けた取組に関する諮問 (1) 地域活性化に向けた取組について ・美里町を取り巻く機会、課題と住民ニーズ、地域活性化施設の基本方針、施設の導入機能及びまちづくり展開を協議
第4回審議会 令和元年8月7日(水)	(1) 地域活性化施設の整備・管理運営方法について ・公設公営、公設民営、民設民営などの運営手法の協議 (2) 地域活性化施設の基本方針について ・施設の到達目標としてのコンセプトを協議
第5回審議会 令和元年10月30日(水)	(1) 農業振興審議会における意見の集約について ・導入機能や取組、連携に関する協議 (2) 事業者ヒアリング結果について ・町内外事業者のヒアリングから得た意見の報告 ・施設の導入機能や町内施設との関わりについて協議 (3) 今後のスケジュールについて (4) 土地所有者意識調査について
第6回審議会 令和元年12月18日(水)	(1) 視察研修 道の駅「木更津うまくだの里」 道の駅「いちかわ」
第7回審議会 令和2年2月26日(水)	(1) 視察結果について ・2つの道の駅について、美里町に置き換えた場合の意見集約 (2) 審議結果のとりまとめについて ・これまでの審議の意見から基本構想としてまとめ、答申書(案)の作成に向け協議
第8回審議会 令和2年3月26日(木)	◎答申書について ・答申の案を基に意見集約し、答申書として町長へ提出